## 「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加者等の 指名基準等に関する要綱」の運用の見直しについて

令和5年5月26日 鹿児島県土木部監理課

「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加者等の指名基準等に関する要綱」(以下「指名要綱」という。)については、当分の間、次のとおり運用します。

#### 1 適用範囲

本運用指針は、「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加資格審査 要綱」の業務のうち、土木部(商工労働水産部漁港漁場課を含む。以下同じ。)が所管する土木関係建設コンサルタント業務及び地質調査業務に適用します。

#### 2 指名の基本的考え方

- (1) 原則として県内に本店を有する業者(以下「県内業者」という。)を指名します。
- (2) 県内業者の指名に当たっては、業務に必要な有資格者数など、技術力を重視して指名を行います。
  - なお、業務の内容によっては、地域性を考慮して指名を行います。
- (3) 特に、高度な技術力を要する業務については、当該業務の実績を有する県内業者及び 県外に本店を有する業者(以下「県外業者」という。)を指名することとし、県外業者 については、県内に営業所を有する業者を優先的に指名します。

#### 3 指名の手順

- (1) 過去3年間に土木部所管の土木関係建設コンサルタント業務又は地質調査業務における指名実績があった業者を選定します。
- (2) (1)で選定した業者ごとに土木関係建設コンサルタント業務(県内)は,実績高,一人当たりの完工高,自己資本額,経営比率,外注比率,有資格者数,業務成績,表彰を土木関係建設コンサルタント業務(県外)及び地質調査業務は,実績高,自己資本額,有資格者数,営業年数を基に算定した総合点数に従い選定表を作成します。
- (3) 橋梁,港湾・漁港構造物設計及び地すべり対策等については、専門分野の有資格者の 保有状況や同種業務の実績を勘案し、別紙-1の要件を満たす業者を選定します。
- (4) 各地域振興局,各支庁(支所,事務所を含む。)(以下「振興局等」という。)は, 選定表を基に,振興局等ごとにそれぞれの実績等を考慮した指名候補者リストを作成し ます。
- (6) 原則として、別紙-3において業務の難易度の区分ごとに定める指名グループの中から、指名要綱別表(第2条関係)の3において設計金額の区分ごとに定める業者数を指名します。

#### 4 その他

- (1) 振興局等は、選定表に掲載されていない業者については、管内の公共事業(国, 県,市町村及び公社・公団等の事業)の業務実績などを勘案して、入札契約手続運営 委員会の審議を経て指名候補者リストに追加できることとしています。
- (2) 本運用は、令和5年6月1日以降に指名通知を行う業務に適用します。
- (3) 選定表及び指名候補者リストについては、毎年、更新を行います。

業務種別	選定要件
橋梁	橋梁については,設計に高度な技術力を要するため,橋長により,要件を区分する。
	1. 橋長20m以上50m未満 下記「2. 橋長50m以上」の要件を満足している者,又は,次の①から④の条件を満足するもの ①建設コンサルタントの登録をしている。 ②県内に本店を有している。 ③「鋼構造及びコンクリート」又は「道路」の技術士を有しているか「鋼構造及びコンクリート」のRCCMを有している。 ④過去10年間に幅員4m以上の新設橋梁(歩道橋は含まない)の実績(県内の県及び市町村事業)を複数有している。
	2. 橋長50m以上 ①建設コンサルタントの登録をしている。 ②「鋼構造及びコンクリート」の技術士を有しているか、「道路」の技術士及び「鋼構造及びコンクリート」のRCCMを有している。 ③県内での過去10年間に幅員4m以上で橋長30mを超える新設橋梁(歩道橋は含まない)の実績(国,県,市町村事業及び鹿児島県道路公社並びに西日本高速道路株式会社の事業)を有している。 ④県外に本店を有するものについては、②に示した有資格者を相当数有すること。
	なお,地形の状況,その他特別の理由により,特殊な橋梁が想定 される場合は,別途,事業主務課と協議する。
港湾·漁港構造物	港湾・漁港構造物の設計のうち、波浪推算・解析により波の特性 を把握した上で行う外郭施設や係留施設等の設計については、高度 な技術力を要するため、
	1. 波浪推算を伴うもの ①建設コンサルタントの登録をしている。 ②「港湾」の技術士又は「港湾」のRCCMを有している。 ③過去10年間に波浪推算・解析等を伴う港湾・漁港構造物の設計実績(県内の県及び市町村事業)を複数有していること,又は県外において相当な実績を有している。 波浪推算・解析等の実績と港湾・漁港構造物の設計実績については,別々の案件でも構わない。(県外業者にも県外の実績については 開外)ただし、設計実績については、波浪推算・解析を用いた設計であること。 なお、県外において相当な実績を有する業者の選定に当たっては、別途、事業主務課と協議する。
	2. 波浪推算を伴わない係留施設等 上記1または、次のいずれかの条件を満足するもの。 ①過去10年間に波浪推算を伴わない港湾・漁港構造物設計の実 績を複数有している。 ②橋長50m以上の橋梁設計業務の選定要件を満たしている。

業務種別	選定要件
地すべり対策(調査を含む)	① 建設コンサルタントの登録をしている。 ② 「土質・基礎」又は「地質」の技術士を有しているか、「土質・基礎」又は「地質」のRCCMを有している。 ③ 過去10年間に地すべり対策事業の調査,設計の実績(県内の県及び市町村事業)を有している。 なお、地すべり対策事業の全体計画策定や地すべり機構の解析を踏まえた観測位置の決定など、特に高度な技術力を要する場合は、事業主務課と協議する。
大規模施設等	トンネル,水門・堰,ダム,空港 地域高規格道路(概略・予備設計),河川計画,港湾計画策定 等 これらについては、主に、県外大手コンサルタントに委託されて いるが、特殊業務であり、その都度、事業主務課と協議する。

## 別表

業種区分	有 資	格者
土木関係建設	【照査技術者等に必要な資格】	
コンサルタント業務(県内)	技術士(技術士法(昭和58年)) ・建設部門(鉄道を除く) ・農業部門(選択科目:農業土木) ・森林部門(選択科目:森林土木) ・水産部門(選択科目:水産土木) ・応用理学部門(選択科目:地質) ・総合技術監理部門(上記各部門)  【保有資格】 ・技術者保有資格一覧に示す資格(照	・RCCM(組織人職コンサルタンツ協会) 左記(技術士)各部門及び造園に限る。 ・土木学会認定土木技術者(2級除く) ・1級土木施工管理(建設業法) ・公共工事品質確保技術者 ・測量士(測量法)
	技術士(技術士法(昭和58年)) ・建設部門(鉄道を除く) ・農業部門(選択科目:農業土木) ・森林部門(選択科目:森林土木) ・水産部門(選択科目:水産土木) ・応用理学部門(選択科目:地質) ・総合技術監理部門(上記各部門)  同上	<ul> <li>・RCCM(社団法人建設コンサルタンツ協会) 左記(技術士)各部門及び造園に限る。</li> <li>・1級土木施工管理(建設業法)</li> <li>・測量士(測量法)</li> <li>・コンクリート診断士 (公益社団法人日本コンクリート工学会)</li> <li>・コンクリート構造診断士 (公益社団法人プレストレストコンクリート工学会)</li> </ul>
地質調査業務	技術士(技術士法(昭和58年)) ・建設部門(土質及び基礎に限る) ・応用理学部門(地質に限る) ・総合技術監理部門(上記各部門)	<ul> <li>RCCM(社団法人建設コンサルタンツ協会)</li> <li>地質部門、土質及び基礎部門に限る。</li> <li>一級さく井技能士(職業能力開発促進法)</li> <li>地すべり防止工事士         <ul> <li>(一般財団法人斜面防災対策技術協会)</li> </ul> </li> <li>地質情報管理士             <ul> <li>(社団法人全国地質調査業協会連合会)</li> <li>地質調査技士</li></ul></li></ul>

# 技術者保有資格一覧

#### 1 有資格者の数 (延べ人数)

01一級建築士	02二級建築士	03 一 級 土 木 施工管理技士	04 二 級 土 木 施工管理技士	05 測 量 士	06環境計量士	07 不 動 産 鑑 定 士	08 土 地 家 屋 調 査 士	09 技 術 士	10第一種電気 主任技術者	11 伝送交換 主任技術者	12 線 路 主 任 技 術 者
13 R C C M	14一級さく井 技 能 士	15 地 す べ り 防 止 工 事 士	16 地質情報管 理 士	17 地 質 調 査 技 士	18 補 償 業 務 管 理 士	19 公 共 用 地 経 験 者	20コンクリー ト 診 断 士	21コンクリー ト構造診断士	22土木学会認定 土 木 技 術 者 (二級除く)	23 農業土木 技術管理士	24畑地かんが い 技 士
25土地改良専 門 技 術 者	26土地改良補 償業務管理者	27建築基準適合判定資格者	28建築積算士	29建築設備士	30一級電気工事施工管理	31二級電気工事施工管理	32一級管工事 施工管理技士	33二級管工事施工管理技士	34 構造設計 一級建築士	35 設備設計一級建築士	36農業水利施 設機能総合 診断士
			40 前出以外	41 公共丁事		42左記以外の				土木部資格保	
37 林業技士	38 技術士補	39 測量士補	の国土交通省	品質確保技術 者	01~41の計	42左記以外の技 術 者				有者欄記入合計	合 計

#### 2 技術士及びRCCMの内訳(延べ人数)

		02港湾・空港	03電力土木	04 道 路	05 上水道・ 工 業 用 水	06 下 水 道	07農業土木	08 森 林 土 木	09 造 園	10都市・地方 計 画	11 地 質
技 術 士											
R C C M											
	12土質・基礎	13鋼構造コン ク リ ー ト	14トンネル	15 施 工 計 画 施工設備積算	16 建 設 環 境	17 機 械(部門)	18 水産土木	19電気電子 ( 部 門 )	20 総合技術 監 理	合計	
技 術 士											
R C C M											

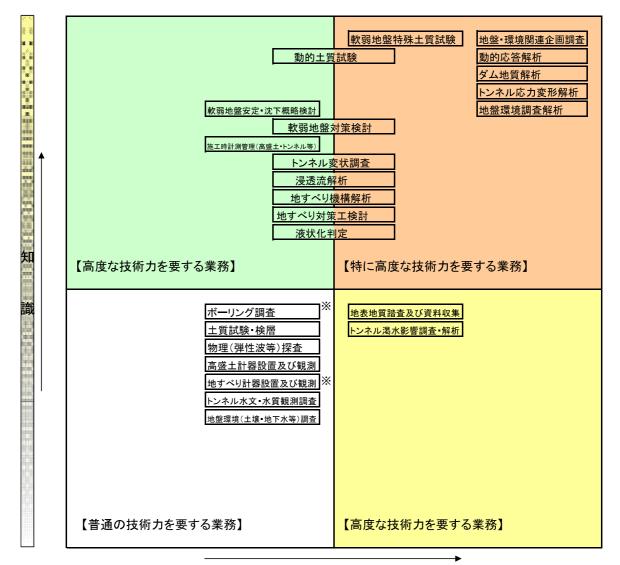
## 3 土木学会認定 土木技術者資格の内訳(延べ人数) ※主分野と副分野がある場合は、2分野ともに計上

	01 鋼・コン クリート	03 流域・ 都市	交通	06 設計	07 施工・ マネジメン ト	08 メンテナンス	09 防災	10 環境	11 河川・ 流域	12 海岸・ 海洋	13 都市・ 地域	14 トンネル・ 地下	16 調査・ 測量	17 マネシ <sup>*</sup> メン ト	18 環境・ エネルギー	合計
特別上級																
上級(A)																
上級 (B)																
1級(A)																
1級(B)																

## 4 国土交通省登録資格の内訳(延べ人数を記載)

		02道路橋点検士 道路橋点検士補	031級・2級 構造物診断士	04土木鋼構造 診 断 士 診 断 士 補	05特定道守C 道 守 C 道 守 補 C	06プレストレストコン ク リート 技 士	071級ポンプ 施設管理技術 者	08公園施設点 検 管 理 士	09公園施設点 検 技 士	10砂防・急傾 斜管理技術者	11主任点検診 断 士 点 検 診 断 士
資格者数											
	12橋梁点検士	13インフラ調 査 士	14社会基盤メ ンテナンスエ キ ス パ ー ト	15土木設計技 士	16空港土木施 設点検評価技 士	17応用地形判 読士資格	18港湾海洋調 査士	19環境アセス メント士認定 資格	20登録ランド スケープアー キテクト	21交通工学研 究会認定TOE	22港湾潜水技 士 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級
資格 者数											
		24下水道管路 管理主任技士	40 間条点便収	26都市道路構 造物点検技術 者	27下水道管路 管理専門技士 調 査 部 門						合計
資格 者数											

## 地質調査業務における業務難易度の目安



構想力-応用力

※ ボーリングや計測機器の位置決定などを伴う地すべり調査については、特に高度な技術力を要する業務として取り扱う場合もある。

# 土木関係建設コンサルタント業務における業務難易度の目安

難易度	普通の技術力 を要する業務	高度な技術力 を要する業務	特に高度な技術力 を要する業務	備考(上乗せ)
河道計画・路線 設計	詳細・修正設計 道路予備設計修正 道路詳細設計(A)(B) 平面交差点・ダイヤモンド型 I C詳細設計 歩道設計	平面交差点・ダイヤモンド型 I C予備設計 トランパット型・クローバー型 I C詳細設計 休憩施設詳細設計 鉄道交差設計 舗装設計	概略設計計画 予備設計計画 道路概略設計(A)(B) 道路予備設計(A)(B) トランペット型・クローバー型IC予 備設計 休憩施設予備設計	
構造物設計	物で中・難以外のもの 共同溝 (開削工法) 詳細設 計	扶壁式擁壁等複雑なもの 共同溝(開削工法)予備設計 シール、共同溝詳細設計 電線共同溝(CCbox)予 備設計 ロックシェット、スノーシェット。スノーシェ ルケー等 二連等複雑なボックス 橋梁架設工 仮設構造物詳細設計 横断地下道設計 横断歩道橋(形状難しい)	重要構造物概略·予備 橋梁光備設計 橋梁概略形式検討 橋梁一般図作成	現場制約が強く,特殊な工法,仮設計画が必要なもの
付属施設設計	土木設計 擁壁・補強土(普通) U型擁壁 法面工(普通) パイプカルバート ボックスカルバート・箱型函渠	雑壁・補強士(高度) 法面工(高度) アーチ, 門型カルバート 門型ワーメン 植樹設計 標識・情報板配置設計		
河川工作物設計	樋門詳細設計 築堤・護岸設計 河川排水機場設計 砂防えん堤詳細設計(重力 式15m未満,鋼製) 流路工詳細設計 流木対策施設設計	極門予備設計 水門及び堰(軽易なもの) 砂防調査(流域特性調査, 降雨・流出解析,地形・地 質調査,自然環境調査,既 存施設調査) 砂防えん堤予備設計 砂防えん堤詳細設計(重力 式15m以上) 流路工予備設計	河川排水機場設計(高度) 水門及び堰(中以外の複雑 なもの) 砂防調査(生産土砂量調 査,流送土砂量調査,経済 調査) 砂防計画	
橋梁上部工(メ タル詳細設計)	単純合成桁(H形, 鈑桁) 単純鋼桁(H形, 鈑桁) 単純トラス	単純箱桁 単純合成箱桁 鋼床版桁(鈑桁・箱桁) 連続桁(鈑桁・箱桁) 単純トラス ゲルバートラス ゲルバー桁 π型ラーメン	単純鋼床版桁(鈑桁,箱 桁) ランガー桁 ローゼ桁 アーチ桁 吊橋 斜張橋	長大橋で、風洞実験 等の模型実験の必要 なもの 構造解析が2次元で なく、3次元の計算 の必要なもの 非対称、カーブの度合
橋梁上部工(コンクリート詳細設計)	RC:単純床版 単純T桁 単純中空床版 PC:単純プレテンI桁 単純プレテンT桁 単純プレテンホロー桁	RC:連続T桁 連続中空床版 連続ラーメン PC:単純箱桁 単純中空床版 連続中空床版 単純ポ゚ステンT桁 連結ポ゚ステンT桁 連結プレテンT桁	RC: アーチ PC: 連続ポステンT桁 連続箱桁 連続ラーメン箱桁 斜材付き π型ラーメン 方杖ラーメン	いが強く,構造計算が複雑なもの 現場の制約条件があり,特殊な施工工法,仮設計画が必要なもの

# 土木関係建設コンサルタント業務における業務難易度の目安

難易度	普通の技術力 を要する業務	高度な技術力 を要する業務	特に高度な技術力 を要する業務	備考(上乗せ)
橋梁下部工詳細 設計	橋台:重力式 逆T式 橋脚:重力式 逆T式 張出式 柱式	橋台:挟壁式 ラーパン式 箱式 橋脚:ラーパン式 SRC式 中空式		
基礎設計		地盤改良 横断歩道橋 場所打杭,既製杭	井筒 ケーソン 深礎杭 鋼管矢板ウエル	
解析業務	資料整理的な業務	下記のもので普通の技術力 を要するもの	下記のもので高度な技術力 を要するもの	全体に共通
		地域計画,道路網計画,交 (交通量推計),経済調査 水計画,地下河川生態系調 景観設計,沿道整備計画等 ソフトな検討・解析を行う 土質・地質の解析 測量調査	、整備効果調査,総合治 引査,環境調査・影響評価, ・	審議会・委員会(学を議経験を含さが外機という。 を書きるの は で が 外機 関との は で が が が が が が が が が が が が が が が が が が

#### ◆令和X年度土木関係建設コンサルタント選定表(県内業者)

## 土木関係建設コンサルタント選定表記載例

		. 104 - 1 104																														
				実績業務(◎	)·希望業務(O)	重要構造物設計実	植			総合点数(合計)	=2(A+A')+B-	+C+D+2E+	2F+G+H																			
連番	許可	商号名称	所在地	ज्ञा	都市 港湾	港湾流	令和 X-3年度 ≜	令和 X-2年度	令和 X-1年度	年間平均完工高	技術者一人当たり第	8工高	自己資	<b>建本額</b>		経営比率(	2か年平均)		外注比率 少数点第2位切	り捨て	保有資格調べ 01〜41の計 (照査技術者等除く)				技術者 管理技術者 技術者保有資格調					業務成績 (建築を除く土木部(別 含む)発注業務のよ 少数点第第2位切り	過去7年間表彰実 (建築を除く土木部( 合む)発注業務の	·續 (漁港 合計 )み)
	香号			道路一砂防	計画空港	(注1) 物		,指名 落札 回数 回数	指名 落札 回数 回数	2か年平均 完工高(ア) (千円) 点数 A	常勤技 一人当た 術者数 り完工高	点数 総合点 A' 2*(A+A')	2か年平均 自己資本 (イ)	<sup>資本回転</sup> 点数 車 7/4 B	総資本 純利益 点	(数(ウ) 流動比 点数	自己資 本固定 比率	総合点 (ウ)~ (オ) C	2か年 平均外 注費 外注比 率	点数 D	土木部 資格保 有者欄 E 2×E	技術士	学会認定	公共工事 品質確保 技術者(オ) (カ)	上 40未満技 40未満 術士(キ) RCCM(ク	40未満学 会認定士 大技術者 (ケ) 40未1級 土木施工 管理技士 (フ)	40未公共 工事品質 確保技術量士(ジ 者(サ)	7+5+f+3+7+3+I *1+2*1+4*2+F *2.5+9*1.5+7 *1.5+2*0.5+9 *0.5+9*1	点数 総合点 F 2×F	気 2年平均 点数 受注件数で除 G	マルを点記入	数 -1
1	####	)〇コンサルタント	口口市	0 0	0 0	0	50 10	60 10	70 20	260,000 2	5 30 8,667	3.8 58	300,000	87 8.6	3.0	14.6 100.0	5.0 80.0 8	.5 28.1	##### 19.2	10.0	20 15.0 30.0	5	5 5 5	5	5 5 2	2 2	2	2 97.5	29.3 58.6	82.6 42	6 0	5 240.5
				注1	橋梁の◎は橋	喬長50m以上6	の要件を満たす	1業者				3	※新株予約権を除	<b>k</b> <																		
					橋梁の○は橋	喬長20m以上5	50m未満の要	件を満たす業	者	2ヶ年平均完工高(4	) 一人当たり完工高(	(A') 自己資本	回転率数値(B)		8資本純利益	率 流動比率	自己資本固定比率	ž.	外注比率(D)	伢	R有資格者延べ数(E)	'n						有資格者数個	値(F)	業務成績	表彰実績(企業	業)
				注2	港湾漁港構造	造物の◎は波浪	推算を伴う設	計の要件を満	たす業者	3億以上	30 10,000	5 100以上	1000未満	10	馬以上	20 115%以上	10 90%以上	10	0~33.3	10 80	0∼ 30		保有資格調べの	「2 技術士及びR	RCCMの内訳」の01・	~20.「3 土木学会		300以上	60	83以上	45 有(〇)	5
					港湾漁港構造	昔物の○は波浪	<b>推算を伴わな</b>	い設計の要件	‡を満たす業者	2億~3億	25 5,000~9,999 1	1.1~4.9 50	~99.9	5.1~9.9	0.5~3.9 0.	1~19.9 85~114.9 0.1	~9.9 20~89.9 0.1~	9.9	33.4~99.9	9.9~3.3 20	0~79 15~29.9				01~18及び「1 有		- 1	00~299.5	30~59.9	77~82.9 1~44	1.9 無(空欄)	0
										1億~2億	20 5,000未満	1 100	0以上	5	).5未満	0 85未満	0 20%未満	0	100		~19 1~14.9		05測量士」に該	当ずる資格を有す	する者の延べ人数を	それぞれ記載		1~99.5	1~29.9	77未満	0	
										5千~1億	15 (完工高-5,000)× 3,8/4,999+1,1 ※小		未満	1	利益率-0.9 198/34+0		(比率-20)× ※ 9.8/69.9+0.1	*	(33.3/外注率)×10		有資格者数−20)×14.9/59 有資格者数−1)×13.9/18+							格者数-1)×28.9 格者数-100)×29		(2年平均点-77 ×43.9/5.9+1		
											10 第2位切り捨て	*********(数値-50) 位切り捨っ	×4.8/49.9+5.1	※小数点第2	小数点第2		z切 小数点第2位t	Ĵ	V-1-3X W 29-5 TE 3	*	《小数点第2位切り捨て						*4	・数点第2位切り指		小数点第2位均		
										1千万未満	5	23711	-		り捨て	り捨て	り捨て			Ŧ	-限を80						上限を	:300		り捨て		

## ◆令和X年度土木関係建設コンサルタント選定表(県外業者)

	/- /A-	·一及二小汤/水产版-			<u> </u>		**/**	, ,,,,																																		
	許可番号	商号名称	営業所所在地	県内営業	I 听	5	実績業績	膐(◎)•	▪希望業	養務(○	)	重要構造	<b>造物設計</b> 実終	責 従業 員数	令和 X−3年		令和 X <b>−</b> 2年度	€ )	令和 X−1年度	Ę								総台	合点数(台	計)=3	×A+E	3+5×	C+D									
連番	f			の有象	#	ज्ञा	和士	洪流	十四	全国 ±華	トンラ 建製	橋梁	港湾漁港								年間三	平均実績	驯		自己資	本額					7	有資格者	<b>香数</b>					営	業年数			
					道路	砂防	計画	空港	基礎	造	ル環境	(注1)	構造物 (注2)		指名 三 回数	落札 拍 回数 回	指名 落 回数 回	札 指  数 回	名 落 数 回	札 2 数 3	ケ年平均 実績高(ア)	点数 A	総合点 3×A	自己資本金 (イ)	1/7	点数 B	総合点 1×B	技術士 (ア)	RCCM (イ)	1級土木 (ウ)	測量士 (エ)	コンクリ <b>ー</b> ト診 断士(才)	コンクリート構 造診断士 (力)	(ア)×5+(イ+* エ+オ+カ)×	ウ+ 点数 :2 C	数 総合 5×		年数	点数 総 D 1	合点 ×D	合計	順位
1	12345	〇〇建設(株)	口口市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	50	20	60	5	50	10	7,000,000	20	60	5,000,000	71	20	20	50	10	60	10	10	2	43	4	25	25	30	25	25	230	
											注1	橋梁の@	のは橋長50	Om以上	の要件を	満たす業	<b>美者</b>													※ 総合	得点が同	点の者に	は, 有資格	者数の「⑺	ア)×5+(イ	´+ウ+エ+オ	+力)×2」	の欄の点	点数が多い	者から並	べてある	<u>်</u>

橋梁の〇は橋長20m以上50m未満の要件を満たす業者

注2) 港湾漁港構造物の◎は波浪推算を伴う設計の要件を満たす業者 港湾漁港構造物の〇は波浪推算を伴わない設計の要件を満たす業者 100億~

75億~100億 25 点 50億~ 75億 20 点 20億~ 50億 15 点 5億~ 20億 10 点

有資格者数值 500~ 30 点 250~500 25 点 100~250 20 点 50~100 15 点 ~50 10 点

35~ 30 点 25~35 25 点 15~25 20 点

## 地質調査コンサルタント選定表記載例

## ◆令和X年度地質調査業コンサルタント選定表

				県内	従	ᄴᆂ	令和	令和	令和								総合	合点数(合語	計)=3×A-I	+B+5×	C+D	(満点は3	00点)						
/± 3	許可	<b>辛</b>	営業所	登録	業	心口	X-3年度	X-2年度	【 X-1年度 【	年間平	☑均実績	高		自己資本	額						有資材	各者数						営業年	数
) 理 (	許可 番号	商号名称	所在地	営業	員	へり	指名 落札	指名 落	礼 指名 落札	金額(ア)	点数	総合点	金額(イ)	イ/ア	点数	総合点	技術	f±	RCC	CM ·	一級さく井	也すべり防止	地質情報	地質調査	(ウ+エ+オ) × 5	点数   総合	点 営業	点数 総	合点 合計 丿
				所	数	<b>夫</b> 傾	回数 回数	回数 回	数 回数 回数	(千円)	Α	3×A	(千円)	× 100	В	1×B	地質(ウ) 土質基	·礎(I) 総技監(z	t) 地質(力) ±	質基礎(キ)	技能士(ケ)	工事士(コ)	管理士(ク)	技士(サ)	Σ(ħ~サ) × 2	C 5×0	年数	D 1	×D
県	内業者	-		<b>※</b> 1		<b></b> 2																							
	1 12345	(株)〇〇調査	口口市	0	46	0	50 10	80	20 100 40	250,000	25	75	500,000	200	30	30	3	2	3 1	0	2	5	5	4	74	25 12	5 40	25	25 255
																>	※ 総合得点	が同点の者	は,有資格者	·数の「(ア):	× 5+(イ+ウ+コ	+才+力)×:	2」の欄の点	数が多い	者から並べて	ある。			
										年間平均実績	漬高			自己資本	額数値										有資格者数	値	営業年数	ζ	
										3億~	30 点	ī		100以上											100~	30 点	35~	30 点	

年間平均実績	高	_自己資本額数值_	_有資格者数值	営業年数
3億~	30 点	100以上 30 点	100~ 30 点	35~ 30 点
2億~3億	25 点	50以上 20 点	50~100 25 点	25~35   25 点
1億~2億	20 点	50未満 10 点	15~ 50 20 点	15~25 20 点
5千万~1億	15 点	<u> </u>	5~ 15 15 点	5~15 15 点
1千万~5千万	10 点		~ 5 10 点	~ 5 10 点
~1千万	5 点			

	1	Т		県内	従	44b -+-	ᇓ	令和		令和	令和		総合点数(合計)=3×A+B+5×C+D (満点は300点)																					
油采	許可 番号	許可		登録	業	地9	X-3年	度 X	X-2年度 X-1年度			年間平均実績高		自己資本額				有資格者数									営業年数							
建田	番号	商号名称	所在地	営業	員	主結	指名	各札 指	名 落札	指名 落	札 金額	はし し	点数	総合点	金額(イ)	1/ア	点数	総合点		技術士		RC	CM	一級さく井	地すべり防」	Ł 地質情報	地質調査	: (ウ+エ+オ) × 5	点数	総合点	営業	点数   纟	総合点 さ	合計┃順位┃
				所	数	天限	回数	回数 回	数回数	回数回	数 (千	円)	Α	$3 \times A$	(千円)	× 100	В	1×B	地質(ウ)	土質基礎(工) 総打	技監(才) ₺	地質(力)   =	上質基礎(キ)	技能士(ケ	工事士(コ	) 管理士(ク	) 技士(サ)	Σ(カ~サ) × 2	<u> </u>	5×C	年数	D	1×D	
県外業者																																		
	1 12345	〇〇調査(株)	口口市	0	200	0	20	4	30 10	20	5 1,00	00,000	10	30	950,000	95	20	20	20	10	10	5	2	0	10	30	50	394	25	125	30	25	25	200

			※ 総合侍点か问点の者は, 有資格者数の「(ワ+エ+オ)×5+ Z (ス~コ)× Z]の懶の点数か多い者から业へてめる。										
年間平均実績高自己資本額数值		自己資本額数值		格者数	<u> </u>	_	営業年数						
	100億~ 30 点	100以上 30	500	~	30 点	. [	35~	30 点					
	75億~100億 25 点	50以上 20	25	~500	25 点	. [	25~35	25 点					
	50億~ 75億 20 点	50未満 10	10	~250	20 点	. [	15~25	20 点					
	20億~ 50億 15 点			)~100	15 点	. [	5 <b>~</b> 15	15 点					
	5億~ 20億 10 点			<b>~</b> 50	10 点	. [	~ 5	10 点					

- ※1:県内登録営業所の〇印は、国土交通省の地質調査業者登録規定に基づく登録営業所を県内に有するもの
- ※2: 地すべり実績に〇印がある業者は、地すべりの調査・設計業務が可能なもの
  - なお、地すべり対策事業の全体計画策定や地すべり機構の解析を踏まえた観測位置の決定など、特に高度な技術力を要する場合は、事業主務課と協議すること。